

2016年12月期
第2四半期決算説明会

2016年8月8日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

本日の説明内容（目次）

【Ⅰ】2016年12月期第2四半期業績	P1	【Ⅲ】通期業績予想	P11
1.上期損益計算書	P2	1.通期予想数値（連結）	P12
2.上期貸借対照表・キャッシュフロー計算書	P3	2.通期予想数値（セグメント別）	P13
3.セグメント別上期売上高	P4	【Ⅳ】下期セグメント別施策および現状について	P14
5.セグメント別上期営業利益	P5	1.セグメント別下期施策（WHG事業）	P15
【Ⅱ】セグメント別上期状況	P6	2.セグメント別下期施策（リゾート事業）	P16
1.セグメント別状況(WHG事業)	P7～8	3.セグメント別下期施策 （ラグジュアリー＆バンケット事業）	P17
2.セグメント別状況(リゾート事業)	P9	4.インバウンドの状況	P18
3.セグメント別状況 （ラグジュアリー＆バンケット事業）	P10	5.インバウンドの当社状況と施策	P19
		6.株主還元	P20
		参考資料	P21～23

【 I 】 2016年12月期第2四半期業績

上期損益計算書

営業利益・経常利益は、前年比・予想比ともに増益

単位：億円	2016/12	2015/12	前年比	2016/12	予想比
	第2Q実績	第2Q実績		第2Q予想	
売上高	322.2	302.4	19.7	325.0	▲ 2.7
営業利益	▲ 4.3	▲ 8.4	4.0	▲12.0	7.6
減価償却費等負担前営業利益	23.2	15.3	7.8	16.0	7.2
経常利益	▲ 4.3	▲ 8.3	4.0	▲12.0	7.6
親会社株主に帰属する当期純利益	1.9	▲ 8.2	10.2	▲10.0	11.9

上期貸借対照表・キャッシュフロー計算書

新規開業等の設備投資を進める一方、有価証券の売却も実施

単位：億円、%		2016/12 第2Q実績	2015/12 第4Q実績	前期末比
総	資産	1,008.3	1,047.3	▲ 38.9
純	資産	225.7	270.1	▲ 44.3
有	負債	447.1	448.1	▲ 1.0
自	資本比率	22.2%	25.6%	▲3.4PT

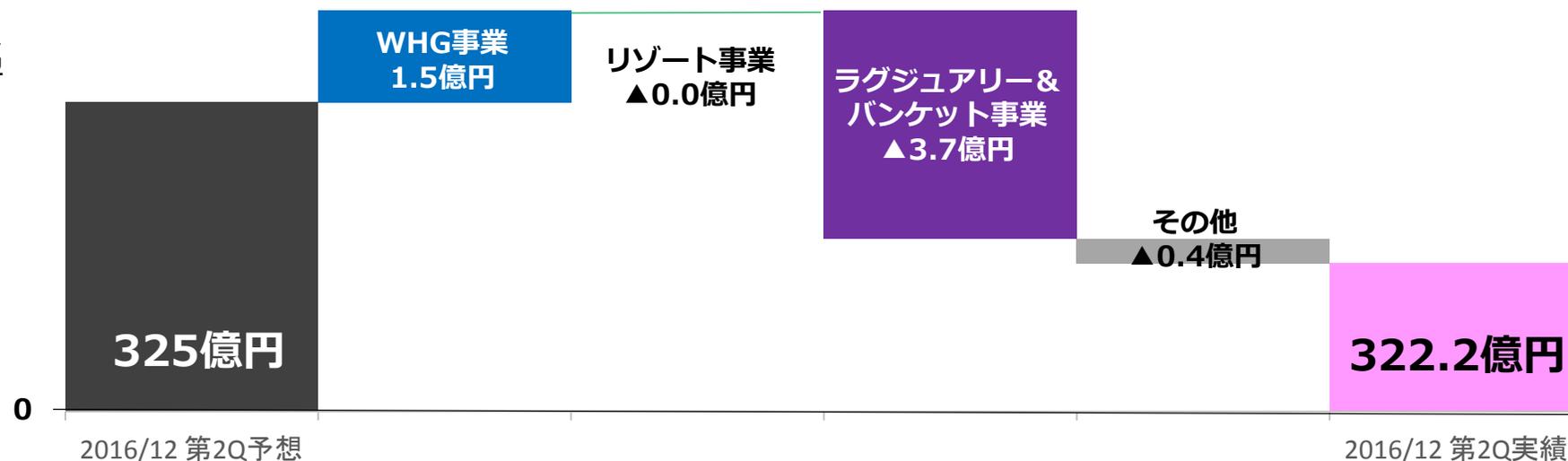
単位：億円		2016/12 第2Q実績	2015/12 第2Q実績	前年比
営	業キャッシュフロー	6.2	▲ 19.0	25.3
投	資キャッシュフロー	▲ 1.5	▲ 64.3	62.8
設	備投資額（キャッシュベース）	37.0	49.6	▲ 12.5

セグメント別上期売上高

HG新宿がフル稼働したWHG事業が業績を牽引

単位：億円	2016/12	2015/12	前年比	2016/12	予想比
	第2Q実績	第2Q実績		第2Q予想	
W H G 事業	151.5	128.8	22.7	150.0	1.5
リゾート事業	29.9	30.5	▲ 0.6	30.0	▲ 0.0
ラグジュアリー&バンケット事業	126.2	126.7	▲ 0.5	130.0	▲ 3.7
その他	14.5	16.3	▲ 1.8	15.0	▲ 0.4
売上高合計	322.2	302.4	19.7	325.0	▲ 2.7

売上高 当初予想比

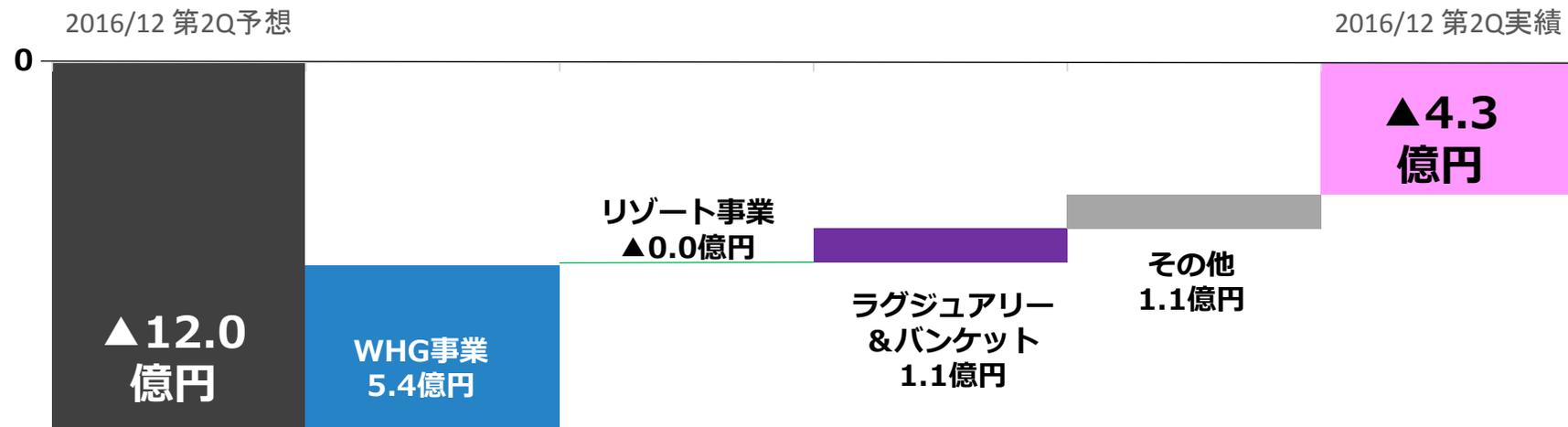


セグメント別上期営業利益

WHG事業、L&B事業にて前年比・予想比ともに増益

単位：億円	2016/12	2015/12	前年比	2016/12	予想比
	第2Q実績	第2Q実績		第2Q予想	
W H G 事業	2.4	▲ 0.3	2.7	▲ 3.0	5.4
リゾート事業	▲ 5.0	▲ 3.9	▲ 1.1	▲ 5.0	▲ 0.0
ラグジュアリー&バンケット事業	1.1	▲ 1.2	2.4	▲ 0.0	1.1
その他の	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 0.0	▲ 4.0	1.1
営業利益合計	▲ 4.3	▲ 8.4	4.0	▲ 12.0	7.6

営業利益
当初予想比



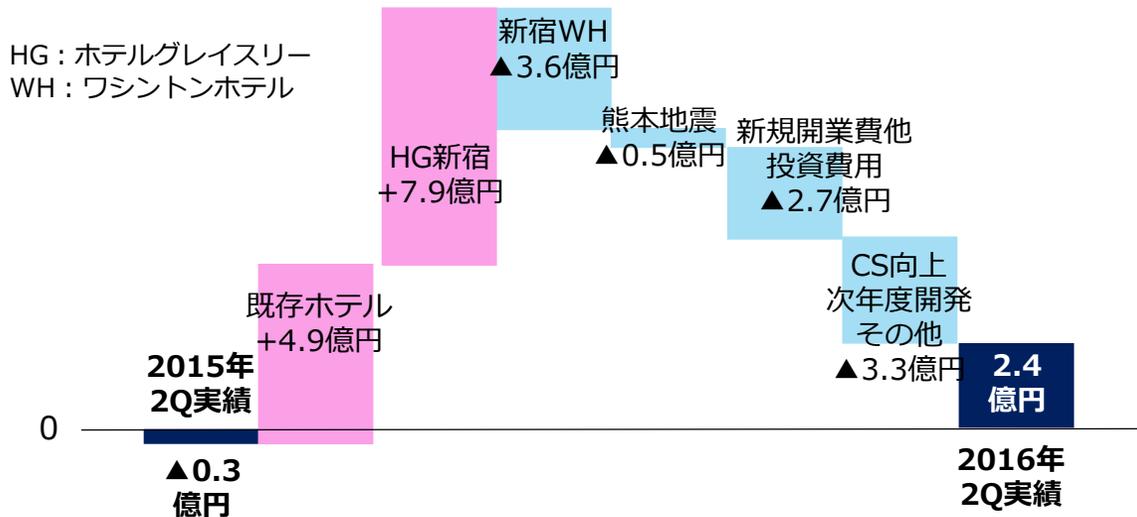
【Ⅱ】セグメント別上期状況

セグメント別状況（WHG事業①）

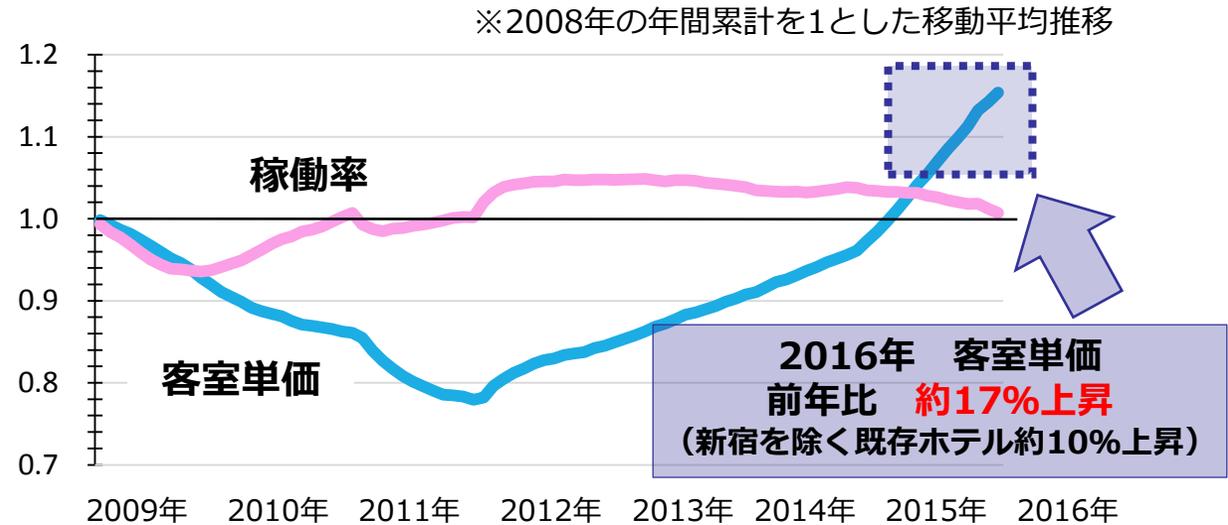
HG新宿・新宿WHフル稼働、客室単価増加で増収増益

単位：億円	2016/12 第2Q実績	2015/12 第2Q実績	前年比	2016/12 第2Q予想	予想比
売上高	151.5	128.8	22.7	150.0	1.5
営業利益	2.4	▲0.3	2.7	▲3.0	5.4

◆ 営業利益 前年比増減要因 ◆



◆ 稼働率・客室単価推移 ◆



セグメント別状況（W H G 事業②）

新宿ワシントンホテルの大規模改修工事終了

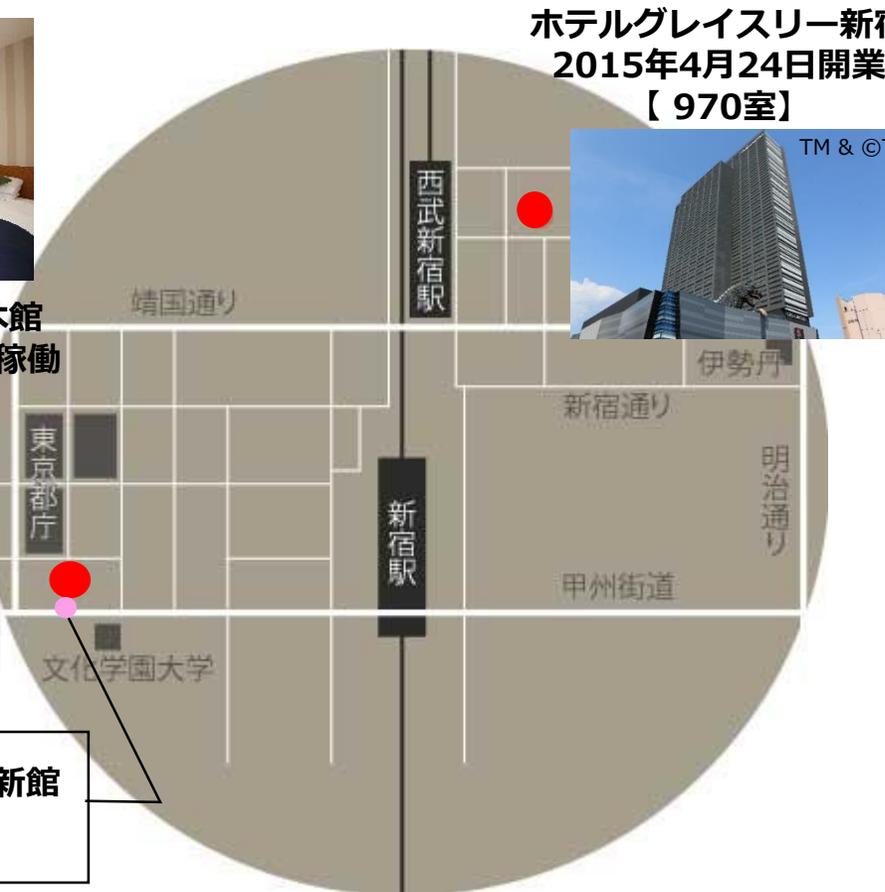
需要の高い新宿エリアで
合計**2,586室**の客室を運営



新宿ワシントンホテル本館
2016年4月1日よりフル稼働
【1,279室】



新宿ワシントンホテル新館
【337室】

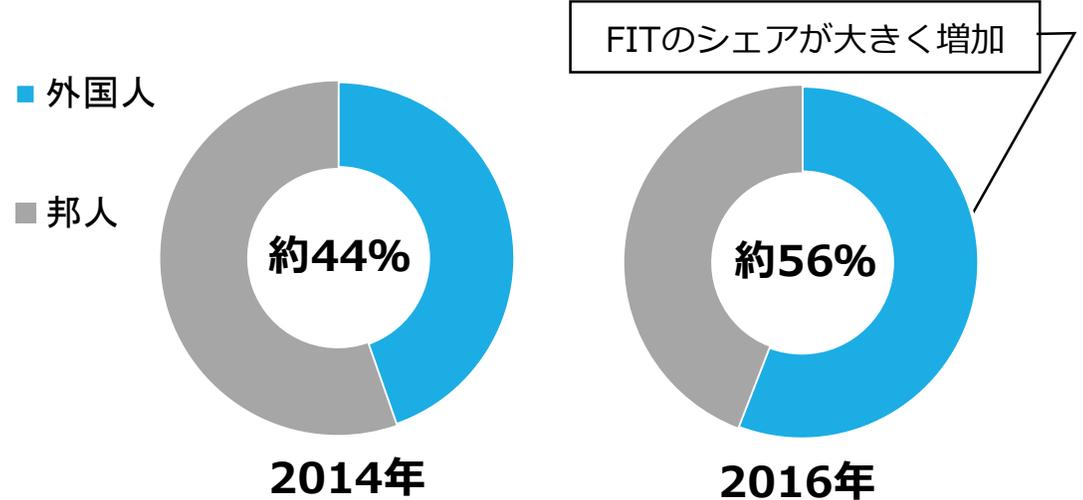


◆新宿ワシントンホテル上期客室単価 増減率◆

	客室単価	稼働率
2014年比	26%増	2.6%減
2015年比	18%増	1.8%減

当初予想では前年比14%の増加を見込む

◆新宿ワシントンホテル上期インバウンド利用状況推移◆



➢ ツインルームの増室によりインバウンド誘客に効果 8

セグメント別状況（リゾート事業）

箱根宿泊需要が回復するも前年比は減収減益

単位：億円	2016/12 第2Q実績	2015/12 第2Q実績	前年比	2016/12 第2Q予想	予想比
	売上高	29.9	30.5	▲ 0.6	30.0
営業利益	▲ 5.0	▲ 3.9	▲ 1.1	▲ 5.0	▲ 0.0

◆箱根小涌園の回復状況◆

箱根ホテル小涌園上期状況

	客室単価	稼働率
前年比	2.4%増	0.6%増
予想比	1.5%増	6.6%増

ユネッサン入場人員前年比



- 宿泊需要は、客室単価、稼働率ともに前年比、予想比を上回り、火山性地震の影響から回復
- ユネッサンは5月以降回復の兆し

◆箱根再開発にむけて◆

- 泊食分離のニーズが高いFIT向けに1泊朝食付きスタイルの温泉旅館「箱根小涌園 美山楓林（みやまふうりん）」を3月に開業（13室、インバウンド比率約30%）
- 「箱根小涌園」エリアの再開発の一環として、国登録有形文化財の建築物を活用し、「蕎麦 貴賓館」、「鉄板焼 迎賓館」を開業



鉄板焼 迎賓館



蕎麦 貴賓館

セグメント別状況（ラグジュアリー&バンケット事業）

宿泊・宴会部門は順調、太閤園は婚礼が好調

単位：億円	2016/12	2015/12	前年比	2016/12	予想比
	第2Q実績	第2Q実績		第2Q予想	
売上高	126.2	126.7	▲ 0.5	130.0	▲ 3.7
営業利益	1.1	▲ 1.2	2.4	0.0	1.1

◆ 婚礼・宴会部門の状況 ◆

【ホテル椿山荘東京】

- 宴会場の改装、販売体制の変更により、婚礼部門の前年比約5%減収分を宴会部門で補う
- 婚礼部門はコスト構造の見直しを図り、減収増益

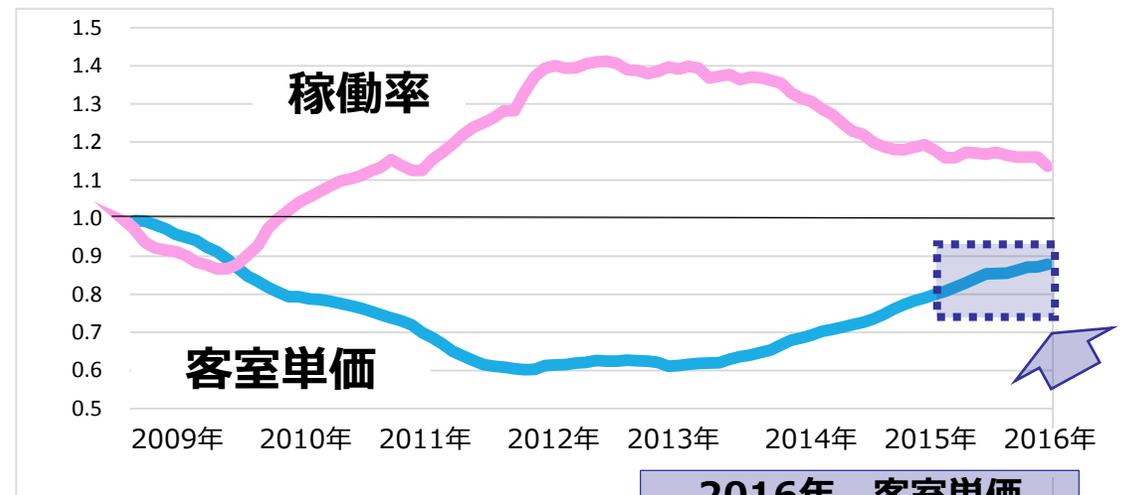
【太閤園】

- 2015年10月に行った、神殿および宴会場の改装が功を奏し、婚礼、宴会部門ともに前年比、予想比ともに増収増益



◆ ホテル椿山荘東京稼働率・客室単価推移 ◆

※2008年の年間累計を1とした移動平均推移



2016年 客室単価
前年比 約6%上昇

【Ⅲ】通期業績予想

通期予想数値 (連結)

	2015/12 通期実績	2016/12 第2Q実績	2016/12 通期予想	2/16発表 当初予想
単位：億円				
売上高	639.8	322.2	695.0	700.0
営業利益	0.3	▲4.3	18.0	10.0
減価償却費等負担前営業利益	51.4	23.2	74.0	70.0
経常利益	▲1.7	▲4.3	16.0	8.0
親会社株主に帰属する当期純利益	0.3	1.9	5.0	3.0
設備投資額(キャッシュベース)	81.6	37.0	108.7	145.9
減価償却費	39.9	21.9	45.0	45.9

通期予想数値（セグメント別）

単位：億円

	2015/12 通期実績	2016/12 第2Q実績	2016/12 通期予想	2/16発表 当初予想
WHG事業	売上高 279.7	151.5	330.0	328.0
	営業利益 8.1	2.4	20.5	14.5
リゾート事業	売上高 64.9	29.9	71.5	72.0
	営業利益 ▲ 3.0	▲ 5.0	▲ 1.0	▲ 0.5
ラグジュアリー& バンケット事業	売上高 262.4	126.2	261.5	268.0
	営業利益 1.0	1.1	4.5	3.0
その他および調整額	売上高 32.6	14.5	32.0	32.0
	営業利益 ▲ 5.7	▲ 2.9	▲ 6.0	▲ 7.0
合計	売上高 639.8	322.2	695.0	700.0
	営業利益 0.3	▲ 4.3	18.0	10.0

【IV】 下期セグメント別施策および現状について

セグメント別下期施策（WHG事業）

単位：億円	2016/12	2016/12		2016/12	
	第2Q実績	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	151.5	178.4	27.4	330.0	50.2
営業利益	2.4	18.0	9.6	20.5	12.3

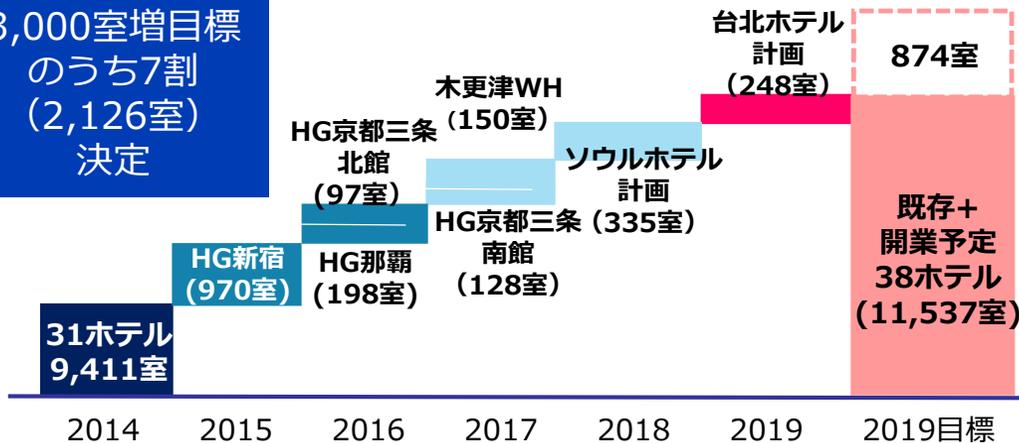
新規出店の加速

- 2016年7月1日開業 ホテルグレイスリー京都三条 北館【97室】
- 2017年5月開業予定 ホテルグレイスリー京都三条 南館【128室】
- 2019年 台北出店が決定【248室】

競争力強化

- WHGホテルズの付加価値を向上
 - ・全てのホテルグレイスリーにコンシェルジュを配置
 - ・朝食の品質向上
 - ・研修センターを活用したスキルアップ研修の実施
- リピーター獲得のため、メンバーズカード会員向けサービスの拡充
(ポイント支払い、72時間前予約サービスの開始)
- 今後、インバウンドを含めメンバーズカード会員組織の拡大を図る

3,000室増目標
のうち7割
(2,126室)
決定



セグメント別下期施策（リゾート事業）

単位：億円	2016/12	2016/12		2016/12	
	第2Q実績	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	29.9	41.5	7.2	71.5	6.5
営業利益	▲ 5.0	4.0	3.1	▲ 1.0	2.0

箱根小涌園の再開発

【箱根小涌園 天悠（てんゆう）】

- 2017年4月開業に向けて10月より予約開始予定
- 既存のホテルにて人材教育を継続実施
- 迎賓館等を活用した高付加価値商品やアクティビティの強化による単価向上（トレッキング、茶道、星空観賞等）

【箱根小涌園ユネッサン】

- 7月より「水着で入れる源泉掛け流し露天風呂」を新設し、商品力を強化
- バラエティ番組とのタイアップを行い、夏休みシーズンの集客向上を図る

販売強化・CS向上施策

【由布院 緑涌（りょくゆう）】

- エリア全体の活性化を目指し、地域の情報発信等、地元と連携した取り組みを実施
- 更に付加価値を上げながら、「九州ふっこう割」等を活用し、10月以降当初予想並みの回復を目指す

【伊東小涌園・伊東 緑涌（りょくゆう）】

- 上期に改装を実施し、ハード面を強化。下期は接遇や料理等のソフト面を強化、単価向上を図る



伊東小涌園 本館和洋室改装
和モダンフロア「粹」-sui-

セグメント別下期施策（ラグジュアリー&バンケット事業）

単位：億円	2016/12	2016/12		2016/12	
	第2Q実績	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	126.2	135.2	▲ 0.3	261.5	▲ 0.9
営業利益	1.1	3.3	1.0	4.5	3.4

客室平均単価の引き上げ施策

【ホテル椿山荘東京】

- 2014年から4年かけて客室改装を実施
3期目（2016年6月末～9月初旬）
和スイート、クラブラウンジの改装でFITの誘客を強化
- 通常料金（ラックレート）および次年度以降の旅行代理店販売料金の見直し

通期の客室単価上昇率は当初の予想通り

前年比増減率	
客室単価	7.0%増
稼働率	1.0%増

婚礼・宴会部門の強化

【ホテル椿山荘東京】

- 大型宴会（MICE）獲得に向けた販促強化、販売体制の変更
- 中・大型会場の改装による商品力の強化

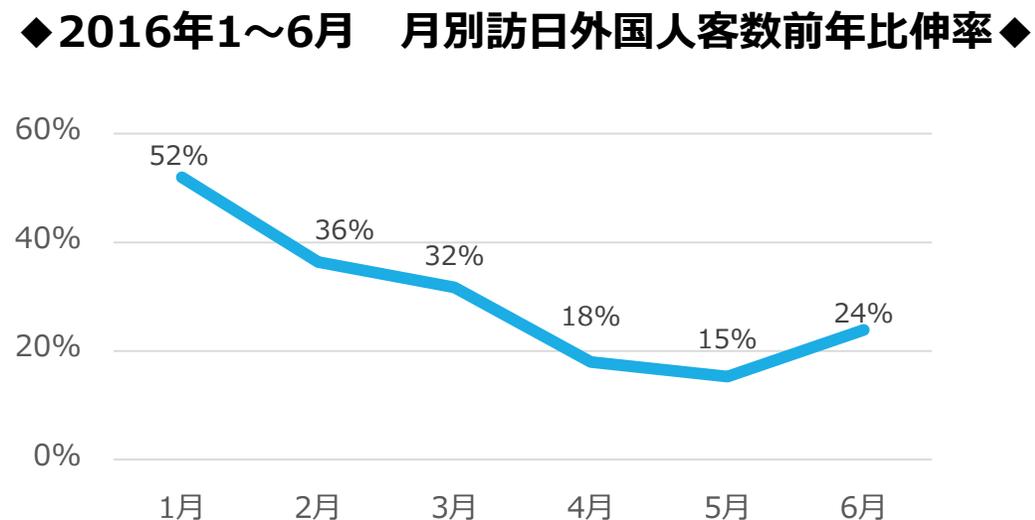
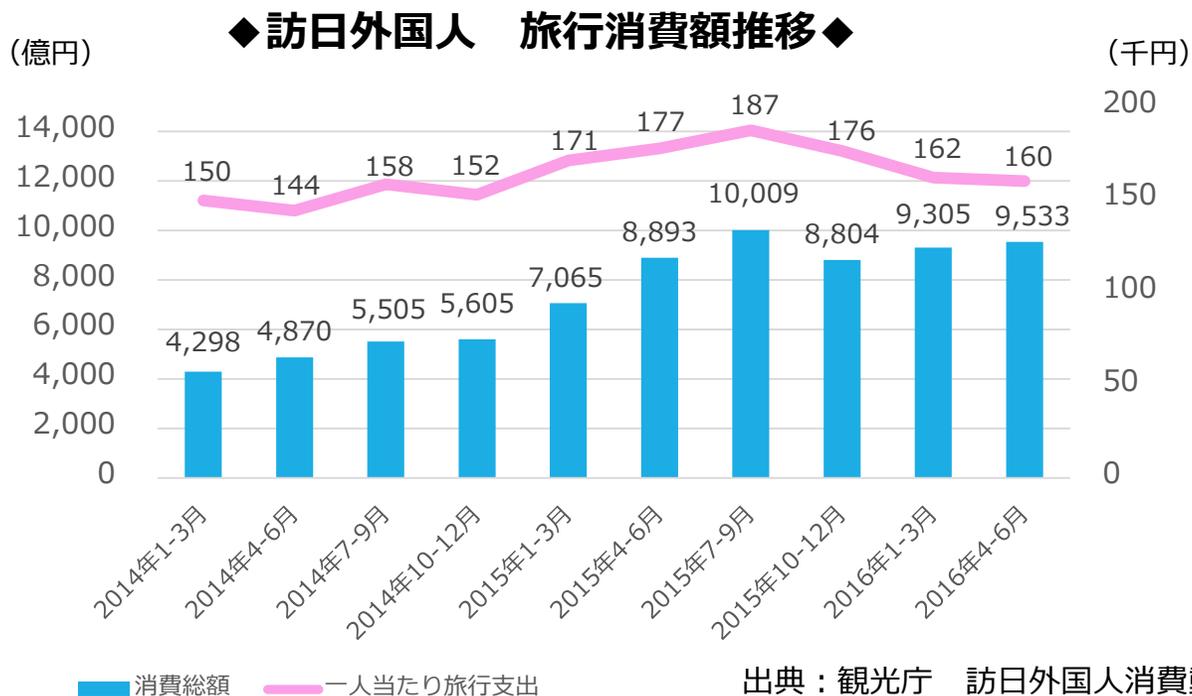
【太閤園】

- 婚礼の会場として人気の高いレストラン「リュクセレ」を改装
2016年7月～8月初旬



インバウンドの状況

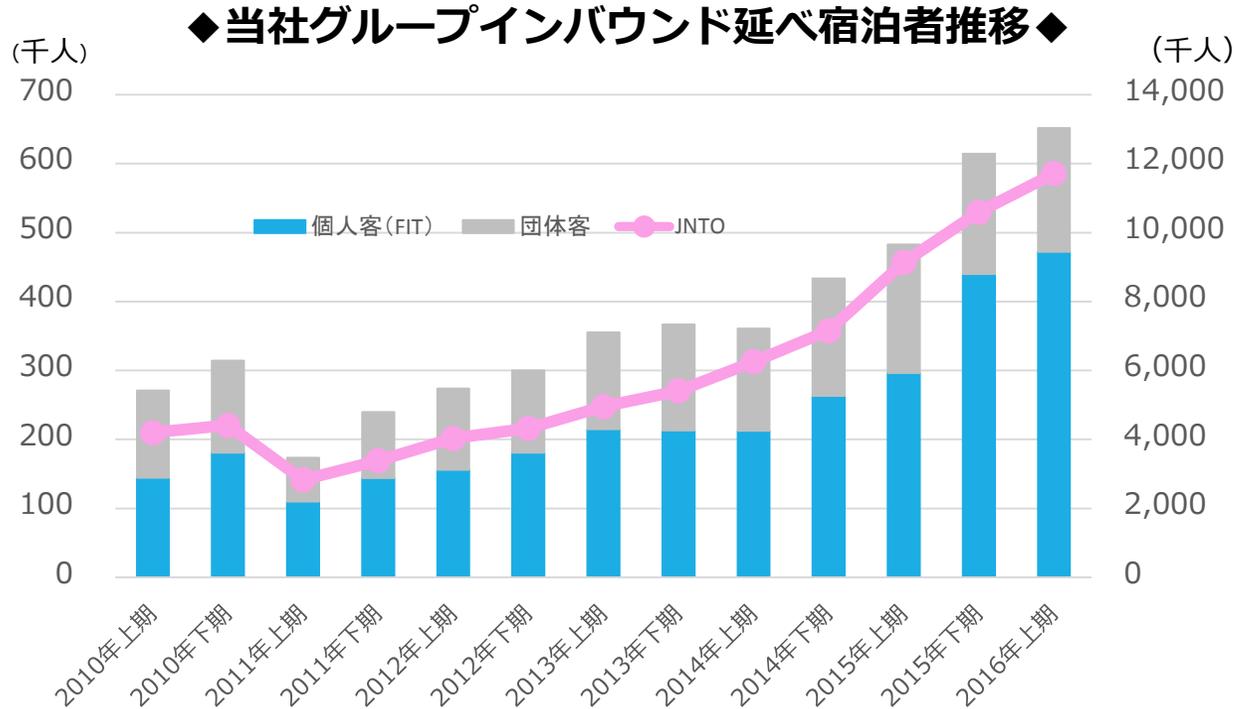
訪日外国人 統計調査



- 消費総額は2016年1-3月、4-6月ともに9,000億円台を維持するも、一人当たりの旅行支出は減少
- 2016年1月以降、訪日外国人数は前年を上回るものの伸率は微減（2015年年間は2014年比47.1%の伸率）
- 観光立国政策、2020年に向けて長期的には訪日外国人数増加のトレンドは変わらないと見込む（2016年3月政府目標 2020年：4,000万人（8兆円）、2030年：6,000万人（15兆円））

インバウンドの当社状況と施策

当社グループの状況



- 2014年以降、個人客 (FIT) の誘客を強化
- 2016年上期は前年比35%増加、約65万人が宿泊
インバウンド比率はグループ全体で約34%

富裕層・個人客の誘客施策



1月にバンコクにて開催したワークショップ

- アジアの拠点（上海、ソウル、台北、バンコク、ジャカルタ）にて、PR活動を実施
 - ・中国の富裕層に向けた、PR活動の実施
 - ・8月ジャカルタにて旅行会社との懇談会を開催予定
 - ・「錦水 TAIPEI by HOTEL CHINZANSO TOKYO」でのPR活動
- WHG事業グループにてインバウンドの利便性向上とリピーター獲得を目的とした施策を実施
 - ・全てのホテルグレイスリーにコンシェルジュを配置
 - ・外国人スタッフの採用を強化
 - ・海外向け予約サイトを順次リニューアル
 - ・今後、インバウンドを含めメンバーズカード会員組織の拡大を図る

株主還元

配当方針

株主の皆さまへの還元には十分な配慮をするとともに、企業体質の一層の強化と事業展開に活用する内部留保の蓄積も勘案のうえ、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

配当実績および予想

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016 (予想)
配当	4円	4円	4円	4円	4円	4円

会社概要

会社概要

決算月	12月
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	9722
単元株式	1,000株
発行済株式数	122,074千株
株主数	13,831名
主な営業種目	ホテル・旅館業・飲食店業他
従業員数	1,288名 (期中平均有期雇用者数3,544名)

主な株主

株主名	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
DOWAホールディングス株式会社	38,143	31.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,080	7.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,749	4.81
ユニゾホールディングス株式会社	3,521	2.94
明治安田生命保険相互会社	3,008	2.51
日本生命保険相互会社	2,184	1.82
清水建設株式会社	1,842	1.54
アサヒビール株式会社	1,811	1.51
株式会社みずほ銀行	1,806	1.51
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,806	1.51

※自己株式 2,175千株／議決権総数 119,461個
(小数点第3位以下は切り捨てて表記)

WHG事業グループ

ホテル【客室：10,676室（開業予定+861室）】

- 藤田観光ワシントンホテル旭川
- 仙台ワシントンホテル
- いわきワシントンホテル
- 浦和ワシントンホテル
- 秋葉原ワシントンホテル
- 新宿ワシントンホテル 本館
- 新宿ワシントンホテル 新館
- 東京ベイ有明ワシントンホテル
- 千葉ワシントンホテル
- 横浜桜木町ワシントンホテル
- 横浜伊勢佐木町ワシントンホテル
- 関西エアポートワシントンホテル
- 広島ワシントンホテル
- キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
- 長崎ワシントンホテル
- 青森ワシントンホテル (FC)
- 八戸ワシントンホテル (FC)
- 鶴岡ワシントンホテル (FC) (2016年8月31日終了予定)
- 山形七日町ワシントンホテル (FC)
- 山形駅西口ワシントンホテル (FC)
- 会津若松ワシントンホテル (FC)
- 郡山ワシントンホテル (FC)
- 燕三条ワシントンホテル (FC)
- 立川ワシントンホテル (FC)
- 宝塚ワシントンホテル (FC)
- 佐世保ワシントンホテル (FC)
- ホテルフジタ福井
- ホテルフジタ奈良
- ホテルグレイスリー札幌
- ホテルグレイスリー新宿
- ホテルグレイスリー銀座
- ホテルグレイスリー田町
- ホテルグレイスリー那覇
- ホテルグレイスリー京都三条 北館
- ホテルグレイスリー京都三条 南館 (2017年5月開業予定)
- 木更津ワシントンホテル (仮称) (FC) (2017年12月開業予定)
- ソウルホテル計画 (2018年夏開業予定)
- 台北ホテル計画 (2019年開業予定)

リゾート事業グループ

ホテル【客室：766室（開業予定+ 150室）】

- 箱根ホテル小涌園
- 箱根小涌園 美山楓林 (みやまふうりん)
- B&Bパンシオン箱根
- 伊東小涌園
- 伊東 緑涌 (りょくゆう)
- ホテル鳥羽小涌園 (2016年9月30日終了予定)
- 由布院 緑涌 (りょくゆう)
- ホテルやまなみ
- 十和田ホテル
- 湯河原温泉ちとせ
- グリーンパル湯河原
- 箱根小涌園 天悠 (てんゆう) (2017年4月開業予定)

レストラン

- レストランあかしあ亭
- 箱根小涌園 蕎麦 貴賓館
- 箱根小涌園 鉄板焼 迎賓館

レジャー

- 箱根小涌園ユネッサン
- 箱根小涌園森の湯
- 下田海中水族館

会員制リゾートホテル

ホテル【客室：460室】

- ウスタリアンライフクラブヴェルデの森
- ウスタリアンライフクラブ箱根
- ウスタリアンライフクラブ熱海
- ウスタリアンライフクラブ宇佐美
- ウスタリアンライフクラブ鳥羽
- ウスタリアンライフクラブ野尻湖
- ウスタリアンライフクラブプロミネント車山高原

ラグジュアリー&バンケット事業グループ

ホテル【客室：389室】

- ホテル椿山荘東京
- ホテルアジュール竹芝

婚礼・宴会

- 太閤園
- 桜苑
- The South Harbor Resort
- ルメルシェ元宇品
- マリーエイド

レストラン

- シビックスカイレストラン椿山荘
- 東京大学伊藤国際学術研究センター内レストラン
- 明治大学 紫紺館 フォレスタ椿山荘
- エフエム東京 JET STREAM
- エフエム東京 CORNET
- 錦水 TAIPEI by HOTEL CHINZANSO TOKYO

レジャー

- カメラアヒルズカントリークラブ
- 能登カントリークラブ

海外現地法人・駐在員事務所

- 上海
- ソウル
- 台北
- バンコク
- ジャカルタ

中期経営計画（2015年～2019年）

「FUJITA PREMIUM VALUE CREATION 2015」 ～観光立国のリーディングカンパニーを目指して～

全体戦略

1. 多様な顧客ニーズを捉えた既存事業の
付加価値向上と拡大

2. 増加する訪日外国人の誘客強化と
海外展開

3. 多様な人材の育成と働きがいのある
職場作り

目標数値

	2017/12 目標	2019/12 目標
単位：億円、%		
売上高	755	880
減価償却費等負担前営業利益	90	120
営業利益	28	53
経常利益	23	48
ROA（経常利益/総資産）	-	4%以上
ROE（当期純利益/純資産）	-	10%以上
設備投資額(キャッシュベース)	75	54
減価償却費	50	58

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画グループ広報担当

小宮山 ・ 真田 ・ 北原

TEL : 03-5981-7703

Mail : h-koho@fujita-kanko.co.jp

注意事項 :

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、注記を行っている場合を除き、2016年6月30日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。